

『PCA hyper 会計シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.17プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SZR_2602

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◇「汎用データの受入」機能の改善

- 補助科目名・取引先名・セグメント名において長さのチェックは行わず、マスター自動登録時にマスター名の長さを超える部分をカットして登録できるようになりました。
- 0円の明細行が含まれていてもエラーにはせずに、該当の行を除外して受け入れられるようになりました。
- 取引先入力しない科目に共通取引先以外が入力されている場合でもエラーとせず、共通取引先に補正して登録できるようになりました。
- 税区分・消費税額を必須項目にしないように緩和されました。
- 補助科目名・取引先名・セグメント名のマスター自動登録時に名称の半角変換・法人格省略削除機能が追加されました。
- 部門マスターの自動登録機能が追加されました。

◇「取引明細の受入」の仕様変更

「取引明細の受入」において、履歴から仕訳の初期値を設定する際の〔取引内容〕〔備考〕〔取引先支店名〕の空文字の扱いが変更されました。

◇「デジタルデータ処理全般」における過去の取引データ削除機能を追加

「クイック取引受入」「取引明細の受入」「経費精算仕訳の受入」で受け入れた過去の取引データ（および履歴等の関連データ）を削除する機能が追加されました。

◇「経費精算仕訳の受入」集約機能の対応

『PCA Hub 経費精算』の「特定の条件で集計して出力」機能に対応しました。

◇電子申告機能の強化

- 申告データ送信履歴管理機能が追加されました。
- メッセージボックスに受付番号検索機能が追加されました。

◇その他の機能強化

- 「銀行振込依頼書」にて、振込データの作成時、「ㄅ」が「才」に変換されず、「ㄅ」のまま出力できるように対応しました。
- 「勘定科目の登録」にて、勘定科目のコードを一括で変更できる機能が追加されました。

◇汎用データレイアウトの備考を変更

- 仕訳データ（Ver7）